

WASEDA-EDGE 御中

アメリカ西海岸視察
実施報告書

2018年12月14日

実施概要・成果

実施概要

- 実施期間：2018年8月10日～2018年9月18日（総日程：40日）
- 観察先：アメリカ合衆国（サンフランシスコ・カリフォルニア）
- 目的：
 - ①サンフランシスコに存在する数々の大成したベンチャー企業を実際に見て見学し
それらの企業の特性を理解することで、ベンチャー企業への理解を深める
 - ②ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
 - ③英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
 - ④日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
 - ⑤英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよび
プレゼンテーションのスキルを向上させる。
- 参加者（計3名）
 - ・佐藤由弥（先進理工学部応用化学科学部2年 研究室未配属）
 - ・福井航大（基幹理工学部情報理工学科2年 研究室未配属）

成果

- ①ベンチャー企業の全てに対してアクティブでかつオープンな考え方を実感することができた。
- ②自分自身のITに関するスキルおよび問題解決への思考力を研鑽することができた。
- ③アメリカの文化に深く親しみ、日本の文化とは異なる文化の多様性に気づくことができた。
- ④日常的に英語を用いることで英語力、特に現地でしか知りえないような英語能力を向上できた。
- ⑤英語で行うプレゼンを行い、即興で説明ができるスキルを身に着けることができた。

実施スケジュール（総日数 40 日）

| 日付 | 到着時刻 | スケジュール |
|---------------------|-------|--|
| 08月10日 | 14:44 | 成田空港着（日暮里駅より京成スカイライナーにて） |
| 08月10日 | 10:55 | サンフランシスコ着（ANA0008便に搭乗） Unity Technologies 本社, Twitter 社, Stanford 大学見学 (Uber および公共交通機関を用いて移動) サンフランシスコ Hotel Whitcomb に宿泊 |
| 08月11日 | | Facebook 本社, Google Plex, Apple infinite loop (公共交通機関および Uber を用いて移動) |
| 08月12日 | 13:44 | ロサンゼルスへ移動（UA5952便に搭乗） |
| 8月13日 ～ 9月15日 | | Datumix 社で研修 |
| 08月16日 | | EinsteinAssembly 社見学 |
| 08月18日 | | Code and Coffee 参加 |
| 09月07日 | | Technicolor 社見学 |
| 09月17日 | | カリフォルニアを出発 |
| 09月18日 | 15:25 | 成田空港着 |
| 09月18日 | 18:33 | 西早稲田駅に到着・解散 |

実施内容

1日目（8月10日）

訪問先：

1. Unity Technologies 社
2. Twitter 社
3. Stanford 大学

場所：

1. 30 3rd St, San Francisco, CA 94103, USA
2. 1355 Market St #900, San Francisco, CA 94103, USA
3. 450 Serra Mall, Stanford, CA 94305, USA

目的：

1. 自社のプロダクト開発に用いている Unity を開発している本社を見学し、最新のテクノロジーについて学ぶ。
2. 日頃何気なく使用している Twitter を開発しているオフィスを訪れ、その自由な社風に触れる。
3. San Francisco の中でも屈指の大学である Stanford の中を見学することでその学風に触れる。

内容：

11:45、サンフランシスコ国際空港に到着し、そのまま Uber を使用して Unity Technologies 社へと直行した。Uber の扱いに慣れておらず、配車を何度かやり直す羽目になったが、無事到着することができた。その後 9th street まで徒歩で行き、Twitter の本社を見学した。社員の方々は忙しそうに働いており、詳しい話を聞くことはできなかつたが、私服で楽しそうに仕事をしている姿を見て、サンフランシスコ本社の自由な雰囲気を感じることができた。

その後無事ホテルのチェックインを終わらせ、Stanford 大学へ向けて出発した。

Stanford 大学へは現地の仕組みに早く慣れるため、Uber ではなくあえて電車を使って向かった。しかし電車の乗り継ぎで失敗し、少しばかり無駄足を運んでしまったが、無事到着することができた。Stanford 大学では、その広大なキャンパスと学生の自由な風潮を肌で感じることができ、日本では感じ取ることのできない大学の雰囲気を感じることができた。そして、Stanford 大学内部で軽い食事をとり、現地の方と仲良くコミュニケーションをとることができた。ネイティブスピーカーの話す英語は速く、なかなか聞き取りづらいものではあったが、アメリカを出国するまでには完璧に聞き取れるようになろうと決心した。

2日目（8月11日）

訪問先：

1. Facebook 本社
2. Google 社 Google plex
3. Apple 社 Apple Infinite Loop

場所：

1. 181 Fremont St, San Francisco, CA 94105, USA
2. 1600 Amphitheatre Pkwy, Mountain View, CA 94043, USA
3. Apple Campus, Cupertino, CA 95014, USA

目的：

1. 世界的に見ても成功している Facebook 社を見学することでその社風を肌で感じる
2. スタートアップ企業の自由な社風、エコ精神などを学ぶ
3. 洗練されたデザインや将来を見据える力を持つことの大切さを学ぶ

内容：

06:30 に起床し、朝食をホテル内で取った。ホテルの食事が予想外に高く、またチップの払い方が難しく苦労したが、とても良い経験となった。その後 Bart、Caltrain、バスを利用して Facebook に向かった。Caltrain の中で乗り合わせた IT エンジニアの方と話をすることができ、IT 用語を使用して英語で話をするという難しいが楽しい経験をすることができた。その後バスで Facebook 向かい、陽気なドライバーの方と仲良くなることができた。なかなかネイティブの英語を聞き取るのは難しかったが、速い英語を聞き取り、素早く返すという練習になった。そして Facebook に到着し、大きな「いいね」の前で写真を撮影し、キャンパス内を散策した。駐車場は最先端の電気自動車で溢れおり、それ専用の充電ケーブルも整っている光景を見て、テクノロジーの進歩を肌で感じた。その後 Google Plex 向かい、カラフルな建物とその自由な風潮を目の当たりにした。構内ではビーチバレーをしている人やサイクリングをしている社員の人があり、仕事とプライベートのメリハリをつけている姿に感動した。無事 Google の見学が終了しバスで Apple 向かう道中、3km ほど歩いた挙句バスを間違えてしまいパニックになっていたところ、現地



のその土地にとても詳しい人が相談に乗ってくれ、地図には乗っていない速く楽な行き方を教えてくれた。その人のおかげで無事 Apple に到着することができ、広大なキャンパスと計算され尽くした建物を見学することができた。旧 Apple 本社の建物は 1993 年に建造されたのだが、建物は現代の建築様式とほぼ同じで全く古さを感じさせないような造りになっていたり、Apple の先見性の高さをうかがい知ることができた。その後バス、路面電車を使用し、Great America という駅まで移動した。途中チケットの買い方がわからず現地の人と話していたところ、仲良くなることができた。無事 Great America まで到着したものの、次の列車の発車時刻にわずかに間に合うことができなかつたため、やむなく Uber で帰ることにしたのだが、回線がうまくつながらず運転手の方と上手くコンタクトを取ることができなかつた。その後なんかコンタクトをとり Uber に乗り、ホテルに戻ることができた。



3日目（8月12日）

訪問先：移動

内容：

06:30に起床し、ホテルで朝食を摂る。その後用意を済ませ、UberでSan Francisco International Airportへ向かう。無事チェックインを済ませ、構内でハンバーガーを食す。セットの飲み物の大きさが500mL程あり、日本との差を感じた。United航空に搭乗したのだが、機内での酸素マスクの実演をしたり、シートベルトの着用指示の際に客との会話を入れたりと乗客の注意を引く工夫を入れていたのが印象的だった。無事Los Angelesに到着し、Dr.丸山と合流し、宿泊先のアパートに到着した。これからお世話になるDatumixの方々とイタリア料理店へ行き、ご馳走になった。Datumixの方々は機械学習のプロフェッショナルで、それぞれの研究分野のお話を伺うことができた。その後帰宅し、1ヶ月間お世話になる家を4時間ほどかけて掃除した。



4日目（8月13日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

6:00に起床し、周囲のランニング、洗濯を終えてDatumix社へ向かい、USメンバーとの初の顔合わせで自己紹介を行った。自己紹介を終えた後、日本の手土産をメンバーに渡し、日本の文化を伝えることができた。昼食はオフィス近くでブリトーを購入してMeganさん宅の屋上で食べた。彼女の家は歴史あるホテルを改築した建物で、非常に開放感があり、綺麗な街並みを見渡すことができる家だった。その後Long Beachの海岸に向かった。果てしなく続く美しいビーチにおいてゆったりとした時間を過ごすことができた。夕食の準備のためにCostcoで食品を購入し、BBQの食材を買い揃えた。そこで売っていた食品は日本のそれよりもはるかに大きく、ここでも日本とアメリカの文化の違いを感じることができた。無事夕食の準備を終え、Datumixのメンバーとそれぞれの出身国の文化の違いなどについて話し、お互いの国の文化についての見識を広めることができた。



6日目（8月14日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は We work でプロジェクトについて話し合い、実際に作業を行った。その後、現在 Datumix がオフィスとして借りている We work よりもさらに大きな We work を訪れた。そこにではさらに多くの人が仕事をしており、日本よりもオフィスを解放的にすることで会社は違えど人とのコミュニティを大切にするという文化を目の当たりにした。キリの良いところまで作業を行ったのち、丸山さんの友達で Code and coffee の主催者である David さんのオフィスで食事を取りながらアイスブレイクを行った。途中でカラオケなども挟みながら日本の文化を共有した。Davidさんは日本人ではないのにも関わらず日本語や日本の文化にとても精通しており、話をしていてとても盛り上がることができた。





7日目（8月15日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は Unity でのシミュレーター作成と AI の勉強を行った。日本にいる Unity のエキスパートとミーティングをし、実際の構想について話し合った。昼にはサブウェイに初めて行き、豊富な種類がある中からサンドウィッチを注文した。店員の方の話す英語がとても速く、訛っていたため聞き取るのは至難の業であったが中国人が中国語で助け舟を出してくれたため、なんとか理解することができた。オフィスに戻り現地のメンバーのディスカッションに飛び入りで参加させて頂き、サーバー

技術や AI の自然言語処理などについて教えていただくことができた。また、現地のメンバーは、自主性を重んじて活発に意見を出し合いながら共通のゴールに向かって行っている姿勢を目の当たりにした。夕食はセブンイレブンで簡単な惣菜を購入した。店員の方が最初は少し無愛想に見えたが、電子レンジの位置がわからず困っていた私たちを親身になって助けてくれた。

8日目（8月16日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は提携を検討しているAIコンサルタント会社の方に現在のプロジェクトの概要と開発計画を英語でプレゼンテーションを行った。時間が限られた中で何をプレゼンすれば良いのか、どのようにすれば伝わりやすいのかを考え、プレゼンテーションに臨むのは大変であったが、自分たちのプレゼンスキルおよび英語のスキルが向上することを実感することができた。しかしながら相手の質問を正確に理解し、正確に返答することは至難の業であった。また、相手のAIコンサルタントの方と仲良くなることができ、日曜日に共に食事をとる約束をつけることができた。

その後DatumixのMeganさん宅で現地の方々やDatumix関連の方15人ほどで集まり、会話やカラオケを楽しんだ。データサイエンティストやハードウェアエンジニア、生物学者、デザイナーなど多種多様な分野のスペシャリストと楽しく会話することができ、多くの刺激を得ることができた。途中でMeganさん宅の友人や隣人が飛び入りで参加している様子を見て、アメリカ人の寛容性を垣間見ることができた。



9日目（8月17日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

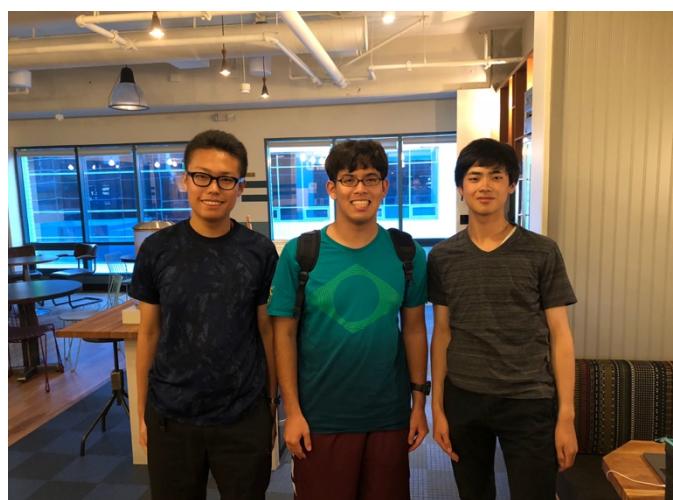
100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. IT ベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

朝出社をして Datumix の会長との軽い打ち合わせを終わらせたあと、現地の AI コンサルタント会社の方たちとインド料理を食べ、現状のプロジェクトの課題について話し合った。AI のプロフェッショナルな話や、互いの文化についての話などをしたのだが、英語でユーモアを交えながら物事を説明する難しさを体験した。その後会社に戻りシミュレーターのアルゴリズムをプログラミングした。アルゴリズムがなかなか思いつかず丸山先生と話し合っていたところ、実はシミュレーター部分と AI 部分で使用している考え方方が共通していることを発見した。丸山先生から、研究時にもこのように広範な知識を全体的に評価し、総合的に考えることで突如発想をすることができるという話を聞き、将来の研究のことについても視点を向けることができた。本日で Wyatt さんや丸山先生、有井さんなど多くの方々が US のオフィスを離れるため、挨拶をして短い間ではあったが楽しい思い出を共有した。



10日目（8月18日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

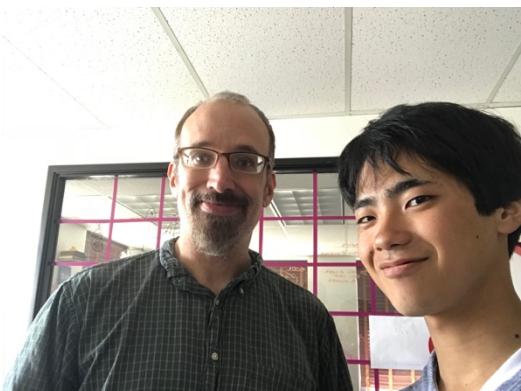
目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する。
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる。
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は US についてから初めての Code and Coffee に参加した。Code and Coffee では多くのエンジニアが一堂に介し、現在のテクノロジーや個人の発見などについて話し合うミートアップの一種で、先日のカラオケ大会で仲良くなった David さんに招待していただき、参加をした。下は高校生から上は 70 歳くらいのおじいさんまでの総勢約 30 名が和気藹々と参加していた。日本ではなかなかこのようなミートアップに参加する機会はなく、また規模もそこまでではないためとても新鮮な体験だった。私たちはそこで多くのエンジニアと話をすることができたが、その中で最も印象的だったのはそれぞれのスキルに対する考え方であった。まず、個人個人が自分の Web サイトを持っており、自分自身に何ができるのか、どのようなことをしたくてどのような仕事に就きたいのかを皆考えているということが非常に印象的であった。そして相手の持っているスキルを尊重し、相手の自分との違いを尊敬しており、相手のスキルが欲しいと考えたときにはその場ですぐに仕事を決めるという公平な実力主義に感銘し、日本との違いを感じた。また Code and Coffee で新聞記者の方から取材をうけ、日本でもこのようなミートアップを活発にしていくべきだという話をした。その後オフィスに帰り、アルゴリズムを決め、実装作業を行なった。





11日目（8月19日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

アメリカに来て初の休日であったため、午前中は疲れをとるためゆっくりと休み銳気を養った。家ではアメリカのホームアニメを英語で鑑賞し、英語でアメリカの文化を楽しんだ。午後は現地の Code and Coffee で知り合った友人の家に遊びに行った。そこで初めて出会ったアメリカ人と文化の共有を行い、日本の電車の混み具合や県の概念などを説明すると非常に驚いていた。特に日本人のサラリーマンが通勤している様子を見せると混んでいるということよりもなぜ全員スツツを画一的にきているのかということに対し疑問を持っていたということが非常に印象的だった。



12日目（8月20日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

今日から初めてオフィスのデスクを使用できるようになり、USチームと同じ部屋で作業ができるようになった。これによりUSチームとのコミュニケーションが活発になり、英語の実践的な練習がより多くできるようになった。まずミャンマーのチームと電話で会議をし、英語でプロジェクトの概要とやって欲しい仕事内容を伝えた。昼食時にはUSチームとハワイアンバーガーを食べに行った。ハンバーガーは非常にカロリーが高かったがその分美味しく、非常に大きかった。その後はオフィスで英語での資料作りと日本チームとのミーティングを行い、コーディングを行った。夕食はDatumixの社長と会長、そしてNTTの主席研究員の方と共にとり、現在のプロジェクトの説明や、個々の研究分野について語り合った。話は量子力学の方向性へと進み、スピンが3/2回転することについての論文の話や、量子コンピュータの話などに進展し、応用化学や物理の範囲を交えたような話をすることができ、非常に興味深かった。



13日目（8月21日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

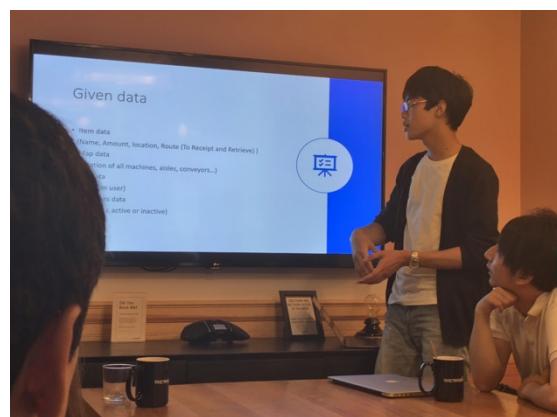
目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

朝食は初めて簡単な自炊を行い、ベーコンエッグを作った。二人とも実家ぐらしであるため日本ではなかなか食事を作る機会がないのだが、このような機会ができたことで「自分で作り自分で片付け自分で洗濯する」という自分で生活するために必要なスキルを身につけることができ、とても良い経験となった。これからは自炊を朝食夕食と作りたいと考えている。オフィスに行くと昨日会食したNTTの方に自己紹介と設備の説明を英語で行った。その会議にはUSのメンバーも同席しており、説明をする時非常に緊張したが、英語での質疑応答など日本では絶対に経験できないような経験をすることができ、とても勉強になった。その後は軽く現在のシミュレーターの作成を行ったあとUSメンバーとWebのレコメンデーションシステムについてミーティングを行った。ここでは実際にテクニカルワードを用いながら相手の言っていることを理解し、正確に返答を行いながら説明をしなければならなかったため実践的な英語の練習になった。





14日目（8月22日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は佐藤と福井で別々の行動をした。佐藤はシミュレーターの作成をしなければならなかったためオフィスに向かい、福井は小型飛行機に搭乗した。

<佐藤>

本日はシュミレーター作成に励んだ。昼食は Megan と Jacky と共にサンドウィッチを食べ、日本とアメリカの文化について話をした。日本の地下鉄の話やイベントの話、原宿の奇妙な文化やアニメ文化などについて話したのち、日本語を教えた。日本語には英語に直訳できない表現や様々な意味に捉えられるような言語が多く、教えるのが大変だったが、日本語に定義についてもう一度見直し、それを英語で正確に表現するということができ、非常に勉強になった。また、二人は11月に日本に来るそうなので、その時に日本の観光名所と一緒に廻りながら説明するということになった。

<福井>

本日は Datumix 会長にお誘いいただきて、小型飛行機の操縦を NTT 山田さんと体験した。飛行機の操縦はまっすぐ進むことさえも難しく、空域の制限を守りながら正確に飛行するのは至難の技であった。飛行機からはディズニーランドやハリウッドを上空から観察するなど、普段とは違う目線で街を眺めることができた。その後 Datumix 会長に今までに経験したビジネスの話を伺った。19歳の時にカナダに渡り、英語も話せない中で旅行会社を作った話など、大変エネルギーで刺激的なお話を聞くことができた。





15日目（8月23日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

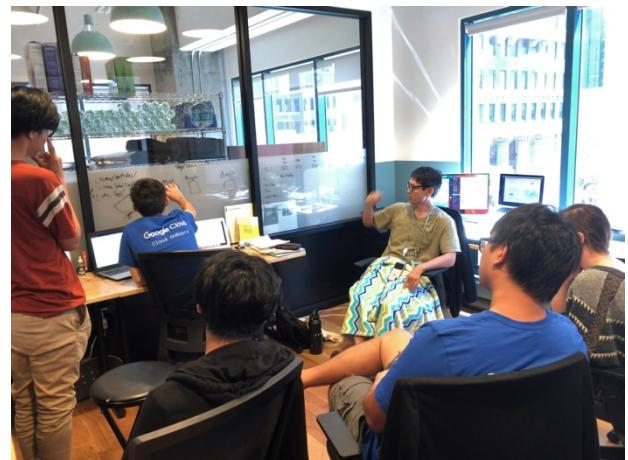
100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は終日オフィスで仕事をした。午前中はシミュレーターの作成を引き続き行い、私と福井で話し合いながら実装作業を行った。また、NTTの方に設備の説明を行った後、強化学習について少しの間教えていただくことができた。午後はUSのチームと共に会議を行い、今度はUSの方で進められているプロジェクトに初めて参加した。まずそのプロジェクトについての説明を受け、実装の方法や実際の作業方法や共有の方法についても教えていただいた。無論全ての説明や意思共有は英語でやるため、英語で聞き取りそれを英語で説明するという機会が昨日よりもさらに多くなり、より発展的な英語の練習をすることができた。また、内容についても自分たちがまだやったことがないWeb系の（インターネットの）内容であったため、非常に勉強になった。明日からはさらに活発にUSチームのプロジェクトに参加することができるようになるため、さらなる英語の練習量向上が見込まれ、非常に楽しみである。また夕食は初めて本格的な料理に挑戦し、親子丼を作った。最終週の日曜日に場所を貸し切り今までお世話になった方々に対し日本食をご馳走し、日本のゲームをしながら日本の文化について知ってもらおうという企画を福井とともに企画しており、その時のためにレパートリーを増やしておくという意味でも良い経験となった。



16日目（8月24日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. IT ベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

今日は数日間お世話になった NTT の山田夫妻をお見送りし、荷物を受け取るため家で遠隔作業を行った。昼は Subway で食し、そのままオフィスに向かった。本日から本格的に US との共同作業が始まり、ミーティングを行いながら作業を行うということをした。まず福井や私の Web 系への知識が非常に浅いため、それを深めるべく様々な知識を詰め込みながらだんだんと技術に慣れて行った。今まで慣れ親しんだものではなく新しい技術に触れたので多くの障壁にあたり、なかなか先が見えずに苦しい思いをしたが非常に勉強になった。また、わからないことも多いため、その分 US チームとの話し合いも活発になり英語力の今日かという意味でも良い勉強となった。仕事の最後には日本にいる US チームの方と US チームでの合同定例ミーティングがあり、そこに初めて参加した。その中で自分の意見を述べなければならないため、自分に与えられた全ての仕事の内容を把握し、責任を持って英語で話さなければならず、とても緊張したが非常に勉強になった。また本日は夕食にタコスを作り、食した。最近だんだんと食事を作ることや掃除をすることにも慣れ、一人暮らしができるくらいの能力がついてきたと感じる。これからはさらに自炊能力や家事能力を上げるということも意識しながら生活をしていきたいと思う。



17日目（8月25日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. IT ベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は午前中に二度目となる Code and Coffee に行った。先週よりも人数が少なかったが依然として多くの優秀なエンジニアの方がきており、エンジニアの多くが先週話したことのあるエンジニアであったことからも今回は様々な IT テクノロジーに突っ込んだような話ができた。ネットワークセキュリティのことについてやっている Microsoft の人の話によるとネットワーク上では javascript による脆弱性が大きいため扱いに気をつけたら良いという話やプリンターの脆弱性の話など、非常に詳しい話を伺うことができ、非常に興味深かった。その後家からは少し離れた大型スーパーに行き、調理器具や食材を買い足した。そこにはセルフサービスの会計システムがあり、面白そうであったため試してみたがなぜかエラーが出てしまい仕方なく諦めた。家では Code and Coffee で仲良くなったアメリカ人の友達とチャットを楽しみ、英語でのスラング表現などを学ぶことができた。

18日目（8月26日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は佐藤と福井は別々の行動をした。

<佐藤>

本日は家で休息をとった。午前中は英語での長文読解の練習を行い、午後は単語の暗記を行った。その後、これから行うプロジェクトについての話を少しだけした。

<福井>

Code & Coffee で知り合った友人と BBQ をした。プログラミング言語についての話で大いに盛り上がった。また、日本語と英語の文化の違いによる言語表現の違いや、それぞれの国の中での方言についての話もできて、とても興味深かった。

18日目（8月27日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日はまず Mynee プロジェクトのメンバーと会議を行い、これから何を実装していくかについて話し合った。その結果私や福井の仕事が決まり、本格的なプロジェクト入りをすることができた。今までのシミュレーター作成の部分では日本メンバーが主であり、その内容を US のメンバーや他社の協力してくれるかもしれない方にプレゼンをするということが多かったが、今回はプロジェクトの内容や問題点、どのように進めていくかなど、聞いてそれに対し応答するということをしなければならなかつたため、非常に難しかった。また、何か問題が起こった時、それを一人で抱え込むのではなく、US チームに英語で質問することをしたため、インタラクティブな会話の練習になった。お昼は先週にもいった Island というハンバーガー屋に行き、同じプロジェクトメンバーとともにお昼を食べた。無事今日割り振られたタスクを今日中に終えることができ、しっかりと実装が完了したためとても達成感のある一日だった。夜はチャーハンと照り焼きの魚を作り食べた。着々とアメリカの生活にもなれ、だんだんと料理の幅も増えてきており非常に嬉しく感じている。



19日目（8月28日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日はヒートマップの実装を行なった。メンバーとより綿密に話し合い、実際の完成イメージを共有することで無事実装することができた。そこには様々な問題があり、解決することは容易ではなかったが、ほかのメンバーに聞いたりディスカッションすることで解決に当たることができた。その後新プロジェクトについての話をし、新しくプロダクトをデザインすることを行った。そこには様々な良い意見があり、現在流行っているSNSサービスはなぜ流行っているのかということについて社長とよく話し合いながらデザインを行った。明日からは今日までやっていたjavascriptではなく、javaやpythonなどをコーディングしていくことになり、また多くの経験が期待できるため、非常に楽しみである。

21日目（8月30日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は朝早くにオフィスへと赴き、新しく企画しているソーシャル企画を行った。そこでは既存の概念を抽象化し、ソーシャルというのにはどのような要素があるのかを考え資料でまとめる作業を行ったのち、実際にソーシャルというものをビジネスにしていくにはどのようにすればいいのかということを考え、英語でスライドにまとめた。このような抽象的な概念を英語でまとめるは非常に難しかったが勉強になった。時間内は Mynee プロジェクトの実装でもフロントエンド（デザインコーディング）部分を担当し、見た目を作り上げた。明日はバックエンド（内部プログラムコード）の実装とその繋がりを作る。夜はピザの店に行き、アメリカ風のピザを堪能した。フランスの生地より厚めの生地で歯ごたえがあり非常に美味しかった。その後夜遅くまで Mynee の概念整理のミーティングを行い、実際に稼働できるところまでいけるように準備を始めた。

22日目（8月31日）

訪問先：

Datumix社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日は、クラウド上のデータベースとの接続部分を作成した。その中でデータのやり取りの全容を把握するために多くのドキュメントを読み込んだことで、インターネットに関する幅広い知識を得る事ができた。また新規事業についての打ち合わせでは、プロジェクトの内容を知らない人に概要を短時間で説明をした。そのプレゼンにおいて短い説明で真意を伝えるのは至難の技であったため、優先順位をつけて整理して説明することの大切さを痛感した。終業後はDatumix社CEOの引越しを手伝いながら、今後のプロジェクトの展望について話をした。その中でも特に、IT企業はIT企業のいる場所に集積することでIT業界を盛り上げているため、いざれはITの集積地にオフィスを移すべきであるという話は非常に興味深かった。

23 日目 (9月 1日)

訪問先 :

Inyo National Forest

場所 :

351 Pacu Ln #200, Bishop, CA 93514, USA

目的 :

1. アメリカの雄大な自然とふれあう
2. サバイバル技術を身に着け、電波の届かない場所でキャンプを楽しむ
3. 多くのカリフォルニア在住の日本人と話すことで親睦を深める

内容 :

午前中にはベーグルを食べながら、新しいプロジェクトの立ち上げについて話し合った。プロジェクトの詳細がだんだんと明快になってきて、実際に UI の詳細が見えてきた。その後 Code camp の準備を行い、キャンプへと出発した。途中 Death vallay という砂漠地帯を通ったとき、周囲にはほとんど緑がなくなっている、日本では見られないような光景へと変わった。時々見える山は岩と赤茶色の土でできており、この辺りの土は鉄鉱石を多く含んでいるという話をした。夜はキャンプファイアを囲みながらクイズ大会を行い、様々なジャンルでのクイズを行った。途中 1 位になりかけたが、積極的に参加するあまりミスを多発してしまい最終的には最下位になってしまった。その後人生で初めてとなる寝袋にくるまってのテントでの就寝をした。キャンプ場の夜は非常に寒かったが、意外と寝袋の中は暖かく快適だった。



24 日目（9月2日）

訪問先：

Inyo National Forest

場所：

351 Pacu Ln #200, Bishop, CA 93514, USA

目的：

1. アメリカの雄大な自然とふれあう
2. サバイバル技術を身に着け、電波の届かない場所でキャンプを楽しむ
3. 多くのカリフォルニア在住の日本人と話すことで親睦を深める

内容：

朝起きて朝食をとるとすぐにその片付けを行った。フライパンなどは川の水を使用して洗ったが、そのまま川に流すと環境に悪いため一度丘に登ってそこで何度も廃液を捨ててから川で洗った。普段川で洗い物をするという経験はなかったため、非常に新鮮であったが、サバイバル生活の一端を経験できたことは非常に良い勉強となった。その後キャンプ場の近くの山の頂点にある Robinson Lake を目指して Death hike と呼ばれる山登りをした。その名の通り、3000m 級の山の非常に険しい山道をステッキなしで登ったため、非常に大変であったが、頂上で食べた昼食はこれとなく美味しかった。また、頂上の湖もそこが山の頂上であるということを忘れさせるほど大きく、そして美しかった。そこはかつて氷河が通ったために削られた場所で、そこに水が溜まっているのだという。無事キャンプ場へと帰った後は皆でキャンプファイアを囲みながら二度目となるクイズ大会を行った。また夕食時には Unity のエキスパートの方とお話をさせていただき、細かい知識から仕事をするということはどうのようなことなのかなど多岐にわたる話を聞くことができ、非常に充実した時間を過ごすことができた。



25日目（9月3日）

訪問先：

Inyo National Forest

場所：

351 Pacu Ln #200, Bishop, CA 93514, USA

目的：

1. アメリカの雄大な自然とふれあう
2. サバイバル技術を身に着け、電波の届かない場所でキャンプを楽しむ
3. 多くのカリフォルニア在住の日本人と話すことで親睦を深める

内容：

いよいよキャンプの最終日となった。

インターネットのない環境で電源もないような生活を3日過ごしてきたが、だんだんとその生活に慣れてその場所を離れたくないと思うまでにもなった。午前はゆっくりと朝食をとり、その後は人生で初めての魚釣りを行った。魚釣りは餌を垂らしている退屈な時間が非常に長かったが、その分自分で魚を釣れたときの喜びは計り知れないものがあった。

さらに自分で魚を釣ることでいかに魚一匹を獲るのが大変なことかや、そして一つの命を食しているというありがたさなど、普段スーパーで買ってきて食べるだけでは知ることのできない経験ができた。そして帰りは日本料理屋に寄り、打ち上げを行った。そこではラーメンを食し、久しぶりに日本食を楽しむことができたため、とても満足することができた。



26日目（9月4日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

先日までのキャンプの疲れが少し残る中、朝起きてオフィスへと向かった。日本から新たに2名が加わり、オフィスが一段と賑やかになった。4日後のシミュレータ中間報告を見据え、新しいPLの下でさらにギアを上げて仕事に没頭した。午後は、採用面接に立ち会い、求職者の方に現在のプロジェクトを説明した。いただいた質問がどれも鋭く、正確に回答するのは至難の技であった。



27日目（9月5日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日はシミュレーター作成をメインに行い、その後レコメンドサービスの実装を行った。先日からUSに加わった新メンバーがリーダーとなり、私たちのマネジメントを行った。シミュレーターの部分では金曜日までの仕事が立て込んでおり、どのように実装して間に合わせるかという部分が非常にシビアであった。今まで私は常に最高のものを実装するということを意識して実装を行って来たが、このように初めて納期に追われ、かつ必要がない実装はせずに必要な部分だけを実装するという経験を始めていたため、新鮮であった。ここから、常に最高のものを作るのはなく、常に状況からものを考えることが重要であるということがわかった。その後家に帰った後はカレーを作り、新しく家にきたメンバーと人生とはどのようにあるべきで、どのように人と接するべきかなどについて話し合った。

28日目（9月6日）

訪問先：

Datumix 社

場所：

100 W Broadway, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. ITベンチャー企業にインターンシップをすることで自身の技術力を検証し、研鑽する
2. 英語圏の人々との交流を多くすることで、アメリカの文化に対する理解を深める。
3. 日常的に英語を用いることで英語力を向上させる
4. 英語で即興のプレゼンテーションをオフィシャルな場で行い、英語のスキルおよびプレゼンテーションのスキルを向上させる。

内容：

本日はシミュレーターの大詰めの作業をした。明日には Unity のプロにお話を聞きに行くという予定と新プロジェクトについての打ち合わせ、およびプレゼンテーションが待つておらず、非常に緊張している。これらの経験はなかなか普通のインターンでは経験できないものであり、このような環境を作っていただいたことに感謝している。本日はほとんどの時間を作業に使ったが、昼食は Domburi という店でしっかりと食べた。多くの同僚が忙しかったことから全員で昼食を食べに行くことはできなかったが、US メンバーの一人とともに日本食を食した。最近無性に日本食が恋しくなって来ており、今日このような形で昼食に日本食を食べれたことはとても嬉しかった。仕事が終わったあと、3mile ほど離れたアジアンスーパーに Uber で行き、日本の調味料を手に入れようとしたが結局手に入らなかった。しかしその代わり、現在住んでいる Magnolia から少し離れた土地のことも知ることができ、とても良い経験になった。夕食には昨日の残りのカレーを食し、明日のプレゼンの準備を行った。

30日目（9月8日）

訪問先：

Technicolor Experience Center

場所：

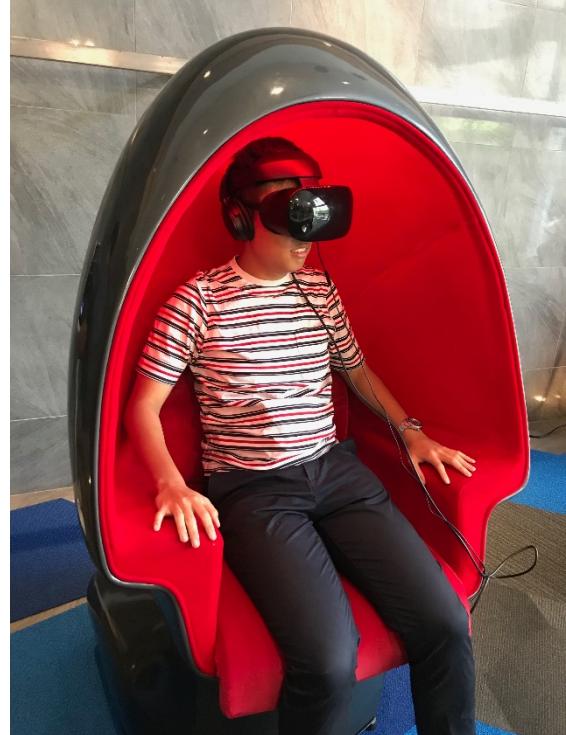
3237 S La Cienega Blvd, Los Angeles, CA 90016, USA

目的：

1. 最先端の映像技術を持つ会社にお邪魔し、最新のVR技術について学ぶ
2. Unity上で起こった問題点をプロに相談する
3. 最先端のライティング技術について学ぶ

内容：

本日はWest Adamsという場所にあるTechnicolorという会社にお邪魔した。この会社は楽曲の拡張子であるmp3の権利を持っている会社で、主にハリウッド映画などでライティングをする現場に赴き、ライティングの改善やCG技術の提供などを行っている。また、様々なVRエクスペリエンスを提供しようとしている会社でもある。Code Campでご一緒させていただいた方の紹介でオフィスの中まで入らせていただき、最新のVR技術・ライティング技術などを見せていただいた。特に印象的だったこととして「臨場感満載のVRテクノロジー」および「VRの将来性の高さ」があげられる。実際にVRゴーグルを着用して様々な映像を見せていただいたが、本当にVRの世界の中にいるような感覚を得ることができた。また、最後にVRを用いて世界のエンターテイメントをイノベーションするという内容は非常に興味深く、私たちもVR技術を用いて何かしてみたいという気持ちになった。



39日目（9月17日）

訪問先：

Sofi at 3rd

場所：

225 W 3rd St, Long Beach, CA 90802, USA

目的：

1. 今までお世話になった人々にお礼を述べる
2. 日本の文化や日本の食について知ってもらう
3. 様々な人々が集まる交流の場にする

内容：

本日はアメリカ留学の最終日であった。そのためパーティー会場を借りて今までお世話になった多くの人々を集め、自分たちで作った日本食をふるまうというイベントを催した。前日には Code and Coffee で仲良くなったアメリカ人の友達が手伝いに来てくれ、一緒に食材の調達から実際の料理なども行ってくれた。料理は焼きそばやカレー、餃子などを出し、日本酒なども提供した。当日は 30 人ほどが集まってくれ、今まで 1 カ月での楽しかった思い出を共有することができ、また日本の文化についての紹介もすることができ、最後に貴重な思い出を作ることができた。最後はアメリカ人の同僚が自分のために万年筆をプレゼントしてくれた。1 カ月強、慣れない文化の中大変であったがそれ以上に充実した夏休みを送ることができたと感じることができた。





アメリカ視察報告（個人）

所属学府・専攻・学年：早稲田大学先進理工学部応用化学科・学部2年 氏名：佐藤 由弥

私は本海外研修を通して、「日本人とアメリカ人の物事に対する考え方の違い」と、「仕事をするということは何なのか」ということについて主に学ぶことができました。

まず、日本人とアメリカ人の物事に対する考え方の違いについて、本研修を通してこの理解には「自分の価値観と異なった価値観を認めることの大切さ」を認識することが重要であると考えるようになりました。私は、研修に行く前は自分の価値観と異なる価値観に直面したとき、他人の価値観と自分の価値観の違いについて思い悩み、自分がいかに周りと同様な存在であるかということばかりを気にしていたことが多くありました。普通の生活においても仕事においても相手の価値観を認めるアメリカ人の姿を見て、自分と相手を分けて思考し、互いの価値観を尊重することが結果的に物事をうまく進めるということに気がつきました。アメリカ人は、母国語も文化も違う初対面の私に対し私に対して同調するのではなく、私を私という人間として尊重してくれ、評価してくれました。これは私たちの滞在したCalifornia州には多くの人種が住んでいるということも影響すると思われますが、多くのアメリカ人が互いの違いを認識した上で自分の価値観と比較するわけでもなく、互いにどう協調して仕事をしていくかということを考えて生きていくかということを考えていることが見て取ることができました。そのため、仕事においては私たちのようなインターン生に対しても礼儀正しく、我々の意志を尊重していたのだと考えるようになりました。この経験から私は、将来にわたり相手の価値観は否定するのではなく、尊重して受け入れるように努力することが大切であるということを学ぶことができました。

また、仕事に対する概念が、お金という報酬は無いという制約のもと行ったインターンシップを通して変わりました。私はもともと、仕事とはこなさなければならないものであり、その中でいかに優秀な成績を収めるかということが、仕事ができるか否か、延いては自分自身の価値を決定しうるものであるという考えを持っていました。しかしあmerica人の働き方を見ていると、それが正しいことなのかということについて考えさせられるようになりました。実際にアメリカ人の同僚に質問してみた結果、アメリカ人は基本的に自由で物事（例えば見える形をとるタスクや集団における法規概念など）に縛られたくないという考えを持っている人が非常に多いのではないかと考えられます。しかしながら私は、多くの物事に対し縛られた考えを持っており、「勉強は成績をとるためにしなければならない」「仕事は評価されるためにより多くしなければならない」といった概念に縛られていました。私はこの心理は、自分自身を苦しめ、仕事に対してネガティブなイメージを付けてしまうことになりかねないと考えるようになり、今の自分が昨日の自分よりいかに成長しているかが重要であると考えるようになりました。この経験から私は、すべての物事は自分がしたいからやっているのであって、やらなければならないことも自分のやりたいことに変化させるにはどうすれば良いのかを常に考えることが大切であるということを学ぶことができました。

アメリカ視察報告（個人）

所属学府・専攻・学年：早稲田大学基幹理工学部情報理工学科・学部2年 氏名：福井 航大

私が今回の西海岸研修で学んだことは3つあります。

1つ目は、自分のスキルを明確にすることです。現地では Meetup(エンジニアや起業家同士が交流するイベント)が開かれていました。そのイベントの中で交流を通して新たなプロジェクトが始まる様子を目の当たりにしました。彼らは皆自分のホームページを持っていて、自分が今まで何をしてきて、何ができるのかをすぐに説明できるようにしていました。これから、自分の専門性を確立した上で、自分自身の紹介を明確にできるように常に準備して行きたいと思いました。

2つ目は失敗を恐れず挑戦することです。現地では Lime という電動スクーターのシェアリングサービスが流行していました。わずか1ヶ月の間に町中にスクーターが設置されて利用されているという展開の早さに驚きました。市民との軋轢もある中で、少しずつ受け入れられているようでした。まずアイデアを形にしてから受け入れられるように修正していくことが実現への近道だと肌で感じることが出来ました。

3つ目は自分に自信を持つことです。

現地の人たちはとてもオープンで、誰とでもすぐ会話を始めっていました。とても明るく、第一印象が良い人が多いように感じました。彼らは、自分の仕事に自信を持っているようでした。それゆえに他人の良いところも悪いところを受け入れができるのだと感じました。仕事においては、他人を信頼して率直な意見を言い、議論をするマインドを大切にしているようでした。他人と自分の小さな違いを気にするより、それを尊重して活かしていく器の大きさを持とうと思いました。

研修で学んだことを生かして、自信を持って挑戦をしていけるように努力して行きたいと思います。

今回は大変貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございました。